

元気かいだ!

Q & A

読者からの質問、疑問にお答えするコーナーです。

日本人に多いのは「正常眼圧緑内障」。注意が必要です!

千葉県医師会理事

ひびのくみこ
日比野久美子 医師



Q 緑内障ってどんな病気?

A 目を閉じて眼球を軽く触ってみてください。一定の硬さがありますね。この硬さが、眼圧であり、眼球の中

を房水ぼうすいという液体が循環することで眼球

は一定の眼圧を保ち、形を維持しています。緑内障は、この眼圧が高くなることで視神経障害がおこり、視野が狭くなっていく病気で、進行すると視力さえも失ってしまいます。閉塞隅角緑内障へいそくぐうかくと開放隅角緑内障かいほうぐうかくの2つに大別されます。

閉塞隅角緑内障の場合は、突然房水の流れが妨げられ、眼圧が急上昇すると、激しい眼痛、頭痛、吐き気といった自覚症状が出現します。しかし、緑内障の多くは、開放隅角緑内障であり、困ったことに初期のころは自覚症状がほとんどないのです。従って、治療が遅れることも多く、我が国の失明原因の第1位となっています。

Q 予防はできますか?!

A 自分でできる予防ですが、定期的な視野の確認をするということですので、視野の異常は両眼では気付きにくいので、テレビ画面を番組のやっていない砂嵐の状態にして、片目ずつ画面中心を見るとき、見えにくい場所があるかを調べてみてください。また、人間ドックなどで眼圧を測るの

開放隅角緑内障

隅角は開いているが、あみの目状の排水口(繊維柱帯)の部分が目づまりを起こしているタイプ
房水が流れにくいところ

閉塞隅角緑内障

隅角がふさがっているタイプ
房水が流れにくいところ

も早期発見にはいいのですが、日本人の緑内障で最も多いのは、眼圧の値は正常値であるにもかかわらず、視神経が障害されてしまう、「正常眼圧緑内障」という開放隅角緑内障の1タイプです。従って、眼圧が低くても安心はできません。40歳をすぎたら、眼科専門医を受診して、視神経の状態を精査し、早期発見をしてもらうこと。これが最善の予防策です。